かしわざき

教育センター・育成センター所報

GALILEI

「小中9年間を見通した、学びのつながり」を研修中 （詳しくはP2ページをご覧ください）

CONTENTS

○今月の巻頭言 …… Ｐ１
　★わくわくの木　　教育センター運営委員
　　柏崎保育園長　田原　瑞恵
○教育センターだより …… Ｐ２
　★アクセス（教育研究班） …… Ｐ２
　★プロジェクト Ｋ（科学技術教育センター） …… Ｐ７
　★心の窓（教育相談班） …… Ｐ１１
○２月の行事予定表 …… Ｐ１３
○所員随想「つれづれ」 …… Ｐ１３
　★「日本」ってすごいんだ　　教育研究班情報教育主事　田村　実
○第 11 回 柏崎の教育を語る会

平成２５年１月号
柏崎市立教育センター　柏崎市青少年育成センター

今月の巻頭言

わくわくの木

教育センター運営委員
柏崎市立柏崎保育園
園長　　田原　瑞恵

柏崎保育園の朝は、７時１５分からスタートします。職員が出勤すると同時に、保護者が子どもを送ってきます。走って登園する親子、着替えやオムツなどたくさんの荷物を抱えて登園するお父さん、赤ちゃんを抱きかかえて小走りにやってくるお母さん。朝の保育園は、忙しさでごった返します。“ 子どもに食事をさせ身支度を整えて来るには、親は何時に起きるのだろう “ と思うと頭の下がる思いがします。私も働きながら子育てをしましたが、ほとんど義理の母任せでした。今は、３０年前私が子どもを育てた時よりずっと大変になってきていると思います。

昨年の秋、一人の保育士の提案で、遊戯室の正面に『わくわくの木』を飾り付けることにしました。『わくわくの木』には、クラス別に色を違えた紙の木の葉を用意し、子ども達の良いところを見つけて、親に書いてもらうという計画でした。“ 忙しい親が多いからそれほど集まらないだろう ” と思っていましたが、予想に反し、ほとんどの親が書いてきてくれました。

〇〇ちゃんの良いところ・・「私の作ったご馳走を喜んで食べてくれる」「笑うと目がかまぼこ型になるところがかわいいよ」「お兄ちゃんが叱られていると慰めてあげる」など一枚一枚読んでみると、親の愛情たっぷりの言葉で溢れていました。まだ生まれて間もない赤ちゃんに対しても、その存在だけで嬉しいという気持ちが表れていて、ほのぼのとした気持ちになりました。

第２弾は、年末に「ぼくの、わたしの今年の一文字」と題して一年を振り返り、漢字一文字に表すというテレビでもおなじみの企画でした。『わくわくの木』には様々な漢字が並びました。

『口』・・・たくさん笑った。いっぱい食べた。おしゃべりが達者になった一年でした。

『笑』・・・家族でたくさん笑った一年でした。

『男』・・・赤ちゃんぽかったのが男の子らしくなりました。

親は、子どもの良いところをしっかり見ている。かわいいと思っている。成長を喜んでいる。そんなふうに思えて、私は安心すると同時に嬉しくなりました。毎日送り迎えをする保護者も、立ち止まって見てくれます。『わくわくの木』は、子どもを見つめる良い機会になったように思います。

新しい年を迎え、次は『わくわくの木』に何が貼られていくのでしょうか。とても楽しみにしています。

教育研究班
アクセス

■ 研修講座より

特集　小中９年間を見通した単元構想

小中の学びのつながりを意識する（理科を例に）

12/26(水)理科における小中一貫教育・1/10(木)新学習指導要領に基づく実践紹介(理科)

最初の研修は、１２／２６の研修「理科での小中連携講座（講師：品田やよい指導兼管理主事）」での、「エネルギー」「粒子」「地球」「生命」という大枠での小中のつながりを確認する演習でした。

「粒子」グループでは、「粒子の概念は中学で教えるものだと思っていたが、すでに小３の教科書の図でその考え方に触れている。ならば中学では、粒の結びつき方の違いによって生じる現象、まさに化けること（化学）の醍醐味を伝えることを意識すればいいような気がする」という感想をもった先生がいらっしゃいました。

その後、参加された複数の先生方の「より多くの分野で小中のつながりを詳しく探ってみたい」という要望も受け、多くの優れた実践をお持ちの下記２名の先生から、小中のつながりに触れながら実践紹介をしていただきました。

並んだ学年別教科書

中学校実践紹介から
上越市立城北中学校
保坂修先生

中学の最終単元に「科学技術と人間」がある。

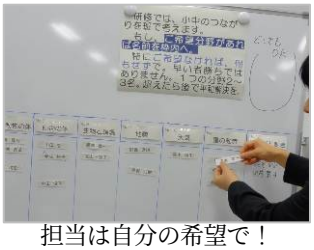
保坂先生からは、主に中学校での地学分野における実践を紹介していただきました。小５での水のはたらき、小６での堆積岩の学びを生かしながら「化石は何を語るか」というテーマに取り組んだ記録で、古地理や気候変動など、既習事項等を総動員する総合的な学びです。

このような学びの集大成として、中学校３年生では、人類が科学的な知識や技能を正しく活用ことを考える単元「科学技術と人間」があることを説明いただきました。

小学校実践紹介から
長岡市立和島小学校
西山晴美先生からの提案

「小学校でどこまで必要？」

西山先生からは、ご自身の実践の中から、
・地層観察や堆積実験
・血液や内臓の観察実験
・ものの溶け方
など、小学校・中学校両方で扱っている内容を取り上げていただきました。これら重複する内容の場合、ただ単に内容が増えながら繰り返すだけでなく、それぞれ意識して指導することがあるはず、という問題提起をしていただきました。

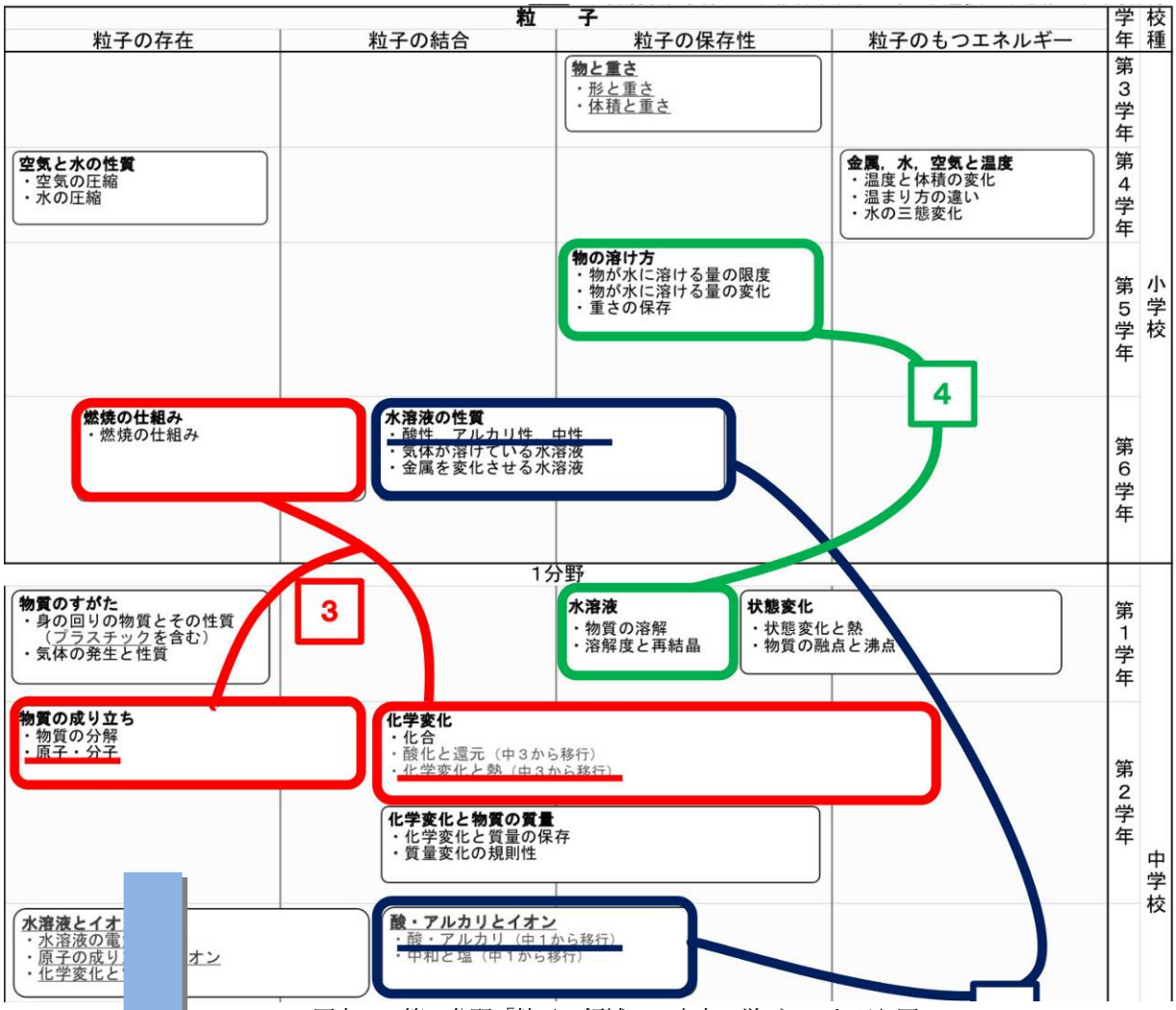

担当は自分の希望で！

地層や内臓、ものの溶け方をはじめ、数多くの分野で、小中で同じ単元の学びがありますが、一体どんなことを意識して指導していけばよいのでしょうか？

そこで、１月１０日の講座では、小・中学校の約５０名の先生方から検討を希望する単元を選んでいただきました。（左写真）

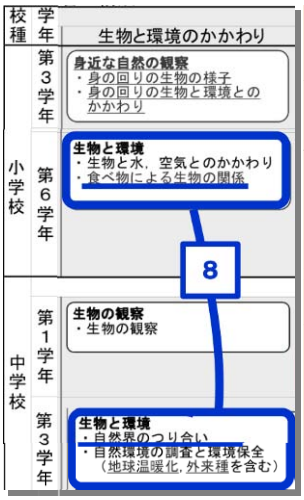
程よく、それぞれ小学校２名、中学校２名程度の、計１２グループが誕生、グループごとにつながりについて議論を開始しました。

このとき「今まで中学校の先生と話をする機会は皆無だった」「小学校ではほとんど似たような学習をしてきている。もっと違いを意識しなければ」等の声が聞かれ、活発に議論が進みました。



図上：　第一分野「粒子」領域での小中の学びのつながり図

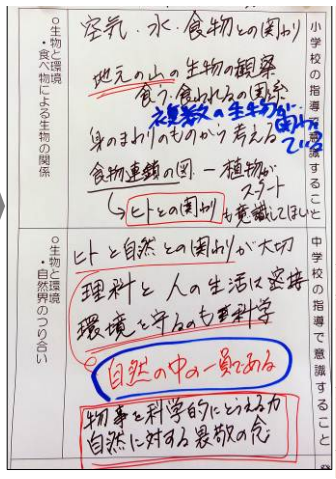
この分野では①小学校での「燃焼」と中学校での「物質の成り立ち」「化学変化」、②小学校での「ものの溶け方」と中学校での「水溶液」、③小学校での「水溶液の性質」と中学校での「酸・アルカリ」のつながりを線で結んで配布しました。



図左

この図は第２分野「生命」における、小学校での「生物と環境」と中学校での同名分野でのつながりを示したものです。

担当した小・中学校の先生方の結論として、それぞれ右図のように意識して指導するべきであるという考えに至りました。



図左

小学校では地元の山や身の回りのものから考える「ヒトと生物のかかわり」を重視し、興味関心を育みます。

そして中学校では、「自然の中の一員としての生物」という考えを重視するべきというものです。自然を系で考え、さらに畏敬の念などにも触れていく学びは、発達段階としても適切だと感じます。

研修を振り返って（参加者の感想より）

「小学校では総じて、事象の本質にしっかりと触れさせ、興味関心を高い状態に保ちながら疑問を大事に扱うこと、小学校高学年からは、繰り返す中にも、次第に原理原則を導く喜びや定性的に分析したい！という欲求を生じさせていくことが大事だということが分かりました。」

「小学校で意識すべきことが見えてくるということは、中学校では単に事象に出会わせるだけでは子どもは満足しない、もっと知的欲求を満たす単元構成を図る必要があると改めて感じた講座でした。高校での学びも意識したいところですね。他教科も同じような気がします。」

伸ばしたいことや効果のある取組を学校園、家庭で共有し繋げる

講　　師　　◆上越教育大学教授 加藤　哲文　様　◆柏崎市立教育センター 小林　東　臨床心理士
実践発表　　◆松波保育園　　西村真由美　様　◆鏡が沖中学校養護教諭　　寺澤むつみ　様
12/25(火)　　スクールサポート事例研修会Ⅱ

松波保育園の西村様からは、場所をテープで示すなど、視覚的な指導等効果のある取り組みを小学校の先生と情報交換することで継続していった事例を紹介いただきました。また、がんばった姿を家庭に伝え、協働体制を強化していくことにも触れられていました。

鏡が沖中学校の寺澤先生からは、中学校区特支部会の開催で、情報交換だけでなく、有効な対応の合意と実践がなされていったという価値のある取り組みの過程を紹介いただきました。

小林東臨床心理士からは､ライフステージが変わるごとに必要となる連携についての講義がありました。対象となる子どもや保護者は同一でも、ステージは変わっていきます。それぞれのステージの特徴を十分理解しながら、支援が形式的にならないようにしなければならない、という強い思いを抱くことにつながりました。

最後に上越教育大学の加藤哲文教授より､「大切なことは、伸ばしたいことや効果のある取り組みを幼保小中、家庭と共有し、継続して一緒になって考えていくこと」というご指導がありました。 家庭との連携の取り方の構えに関わる、重要な部分に触れていただきました。

内容の濃い半日でした。子どもが生きていくエリアで、こんなことをこうやって繋いでいけばいいんだなあ…、しかも自立的に。そんな方向が見えてくる講座となりました。

Have fun teaching English!

◆中越教育事務所　指導主事　　力間　昌宏　様
1/15(火)新学習指導要領に基づく実践紹介(英語)

中越教育事務所指導主事 力間 昌宏様

講座では、まず、言語活動の取り扱いについての説明がありました。そこでは発信力や自己表現だけでなく、言語材料について理解したり練習したりする活動もバランスよく取り入れる必要性を話されました。また、力間先生の今年度の学校訪問で効果的だと感じた取組について、

・文章を作る目的を明確にした取組
・インタビュー形式や、移動して相手を見つけて尋ねる活動

等を紹介していただきました。

さらに、受信、発信の際にはチャンクで区切っての指導が有効であることを Jackie Robinson/was a beseball player/who played/for the Brooklyn Dodgers などの英文を用い、説明されました。全文に一気に触れながら理解することは難しいことです。

最後に、英文解釈の深化について、オーラルイントロダクション→新出単語→スキャニング等の活動を行うことで、「単に日本語を訳すことができるか」ではなく「英文の意味を理解しているかを問う」プロセスが有効であるとのお話をいただきました。参加者が自身の実践を振り返り、「何が大事なのか」を問い直すきっかけになる講座となりました。

自分で決める、という「生き方」を「算数で」学ばせたい

◆長岡市立表町小学校　教諭　　笠原　道宏　様

1/16(水)新学習指導要領に基づく実践紹介(算数)

長岡市立表町小学校　教諭　笠原　道宏様

この講座では、指導方法というより、教師の構えについて熱く語っていただきました。

分数の授業を例に、この場面で「あなたはどんな発話をしますか？」という演習形式を取り入れながら、後戻りできない「聞く」「発問する」ことへの覚悟や、「文化」と捉えながら進める学習ルールづくりが重要であることをお話いただきました。また、「子どもにどんな力を身に付けてほしいか、もっというと算数を通してどんな人間になってほしいか、信念があれば貫けるはずです」とも語っておられました。

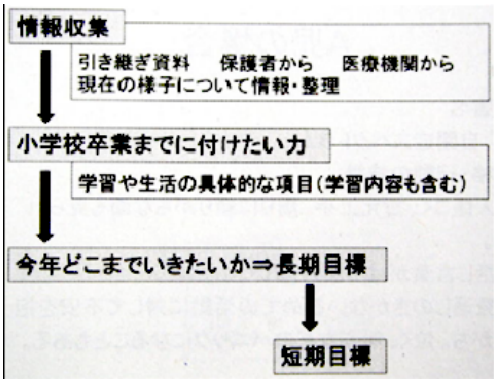
教育基本法第１条で教育の目的について「…人格の完成を目指し…」とあります。そのための目標として第２条で「…目的を実現するために…知識と教養を身に付け…」とあります。つまり、「生き方を学ぶために算数を学ぶ」という笠原先生の信条は、大切な構えの一つだと考えさせられました。

こんな風に「個別の指導計画」を作っています！

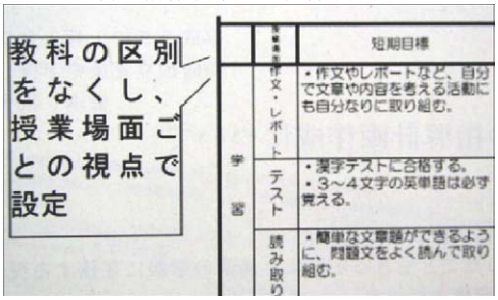
担当　　◆学校教育課 指導主事　上松　武

実践発表　◆日吉小学校 教諭　徳永まゆみ　様　◆北条中学校 教諭　橋本　景子　様

1/18(金)　　特別支援学級経営の基礎基本Ⅳ



資料：情報収集から目標設定まで



資料：実態に合わせた視点設定

前半は、上松指導主事より、個別指導計画、特に通常学級に在籍する児童生徒の作成状況や活用促進についての講話でした。その中で「２５年度柏崎市版個別の指導計画の活用マニュアル」の紹介があり、前年度の実態から当該年度の目標、手立てなどを記入しやすくする、Ａ３版の構造的なシートの紹介もありました。

後半は、「実態からどう個別の指導計画の目標を導き出すか」について実践発表で、日吉小学校の徳永まゆみ先生からは、「卒業時の姿を想定し、実態の分析に時間をかけることが大事。雑談の中にも多くの情報がある。」というお話がありました。ただ実態を語るだけでなく、目標を見据え、方策を話し合うことの重要性を指摘していました。（右図）

北条中学校の橋本景子先生からは、中学校区での取り組みについて、ある子どもの教育的ニーズである「書くこと」に焦点を当て、計画書の様式を教科の枠でなく「授業場面ごとの視点」に変更してみたという提案です（右図）。この取り組みに参加した当該学区の北条小、山崎先生からも「一つの能力は多くの場面で活用されている」という捉えの重要性を認識できたとの紹介がありました。

５０人を超える方々の参加によるこの講座で感じたことは、各区域で核となる人が学校間を行き来し、自律的に教育を充実させている、という仕組みのよさでした。

■ 柏崎教育情報支援システム/コンテンツサーバ情報

講習会のテキスト、資料を登録しました

◆コンテンツサーバ（スクールオフィス）

実施日	講座名／資料名
1/8	スクールオフィス成績管理テキストの更新 N021_小学校成績管理設定編.docx　（入力権限設定に関する記述の部分修正） N025_中学校成績管理設定編.docx　（入力権限設定に関する記述の部分修正）

■ 情報関連講習会のご案内

2 月に実施される講習会

◆H25.2.19（火） スクールオフィス年度更新講習

スクールオフィス管理者向けの講習です。次年度用データの準備手順、学校基本情報管理の年度更新作業、年度末や年度始めに必要な処理について学習します。管理者以外の方が受講していただいても構いませんので、管理者の役割を部分的に委譲する際の参考にしていただけます。

◆H25.2.27（水） 疑問やトラブルに答える フリーQ&A その9

ICT 活用に関すること、パソコンのトラブルや疑問など、自由に相談できる機会を設けました。他の講座のような事前申し込みは不要ですが、前日までにメールや電話で相談内容をご連絡ください。

■ セキュリティ情報

セキュリティホール情報

マイクロソフトより、1 月 9 日付で 1 月の定期更新として、Windows などの重要な更新が公開されました。最大深刻度「緊急」が 2 件、「重要」が 5 件です。また、1 月 15 日付で緊急の更新として最大深刻度「緊急」で 1 件が公開されています。まだ Update が済んでいないようでしたら、至急 Windows Update などを実施していただくようお願いします。

ソフトウェアのアップデートやフリーソフトのインストール時の注意（再掲）

Adobe Flash Player や Adobe Reader のアップデートを行う際に、Google Chrome（Google 提供のブラウザ）が同時にインストールされ、既定のブラウザが Chrome に変わってしまい、スクールオフィスや e ライブラリが正常に動かないという相談が増えています。Flash Player に限らず、フリーのソフトウェアなどをインストールしようとする際に、他のソフトウェアが一緒にインストールされることがありますので、表示をよく見ないで進めてしまわないように注意してください。

ここのチェックを外してから「今すぐダウンロード」をクリックしないと、自動的に Google Chrome がインストールされてしまいます。

明けましておめでとうございます。
今年もよろしくお願いします。

旧年中は当センターの事業にご理解・ご協力いただき、ありがとうございました。
本年も皆様のニーズにできるだけお応えできるよう、努力していきたいと思います。
どうぞよろしくお願いいたします。

研修会・事業の様子

○いきいきわくわく科学賞表彰式　１２月１５日実施

◇内　容

県立生涯学習推進センター（新潟市）にて、いきいきわくわく科学賞２０１２の表彰式が行われました。柏崎刈羽地区からは瑞穂中学校２年生の川村翔太さんが新潟県教育長賞を受賞し、表彰式に参加してきました。

研究作品題目　『ヒザラガイの歯舌の秘密』

【作品概要】

自宅で飼育しているヒザラガイを観察していた際、偶然、歯舌が磁石につく現象を発見し研究に取り組んだ。食性の観点を加えながら 10 種類の貝との比較実験を行い、ヒザラガイの歯舌は古い側歯ほど磁石によくつくことを見出し、歯舌の中で磁鉄鉱が形成することを発見した。観察から仮説を導き、実験、考察、検証と論理展開がスムーズである。細かい作業を粘り強く進めた成果と８年間にもわたる貝の飼育とが生かされた研究である。

川村翔太さんの表彰式

【受賞者の感想】

ぼくは、８年間貝の標本作りと研究をする中で、貝の歯舌が磁石につく現象に興味を持ちました。歯舌に鉄が含まれているのではないかと思い研究を始めました。実験で疑問を解決するたびに新たな別の疑問が生まれ、面白いなと思いながら研究を進めました。その研究で賞をいただけて本当にうれしいです。これからも残された疑問を研究していきたいです。

○要請研修　比角小学校６年　放射線教育　１２月１８日実施
比角小学校３年　放射線教育　１月１１日実施
荒浜小学校５年　放射線教育　１月１６日実施

◇内　容

前半は「放射線の３つの特徴を知ろう！」ということで、放射線によく似た光を使って学びました。特徴１「たくさん浴びると危ない！」特徴２「人から人へはうつらない！」特徴３「ものを通りぬける力がある！」これらの３つの特徴を、活動しながらおさえていきました。後半「放射線ってなんだろう？どこにあるのかな？」を課題として、放射線測定器を使って身近にある放射線を測定する実験を行いました。「教室にも飛んでいるのか。」と驚きを隠せない子どもたち。「少しだったら大丈夫。でも、たくさん放射線を浴びることになってしまったら・・・。」そんなときの命の守り方を、この日の最後に学習しました。

比角小学校６年　放射線を測ってみよう

○教職員理科研究発表会　１月１０日実施

◇内　容

第１部では、小・中学校各４人の先生方から実践発表をしていただき、それぞれの発表について、市教委の品田やよい指導兼管理主事、山田　智教育センター副所長から指導と激励がありました。

理科研究実践発表

第２部は、センター研修でした。上越市立城北中学校教諭の保坂　修先生と、長岡市立和島小学校教諭の西山晴美先生を講師にお招きし、新学習指導要領に基づいた実践を紹介していただきました。その後、小・中学校の先生で小グループをつくり、小・中学校の理科の単元のつながりを確認しあう研修を行いました。小・中学校で理科に携わる先生方に大変大勢お集まりいただき、お互いの教科書を見合いながら、子どもたちにつけたい力を語り合うことができました。短い時間ではありましたが、活発な交流ができていたようです。

小・中学校の学びのつながりを語り合う

＜受講してくださった先生方の感想を紹介します＞

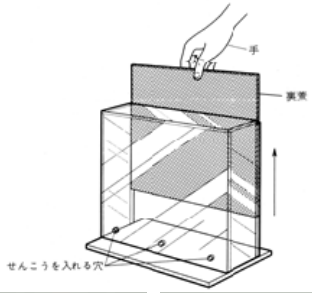
～前半：実践発表～

・自分もこんな実践をしてみたいと刺激を受けた。
・皆さん、時間のない中工夫して、子どもたちへの理科授業を実践しているのだということに感動した。
・教材の工夫により生徒の理解を深められること、授業の組み方で生徒の意欲を高めていけることが分かり、大変勉強になった。やっぱり子どもを中心に置いた授業づくりを今後とも考えていきたい。

～後半：小・中で同じ系統の分野を語り、学びのつながりを意識する～

・中学校の先生と理科について話ができてよかった。（小学校の先生）
・小学校で何を学んでくるのかを確認することができ、有意義だった（中学校の先生）
・教科書を突き合わせてみることで、初めて分かることもたくさんあった。
・小中お互いの学習内容を意外と知らないでいることを感じ、このような情報交換は大変重要な研修だと感じた。

教材・教具の紹介
～ぜひ、ご利用ください～



☆空気の対流実験装置

小学校４年生の「もののあたたまり方」で、空気の対流の様子が観察しやすい教具です。装置の下の方には線香を入れる穴があります。後ろの壁が黒いアクリル板でできているので、線香の煙の動きがはっきり見えます。空気を入れ替えたいときは後ろの黒い板をスライドさせれば、すぐに空気の入れ替えができてしまいます。（上の図参照）優れものです。センターには８台用意してあります。ぜひ、お使いください。

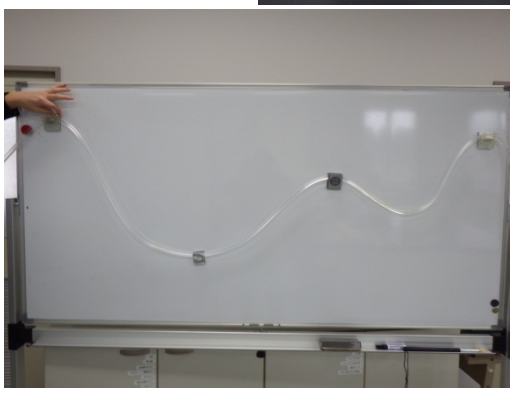
真ん中の穴に線香を入れた時

右の穴に線香を入れた時

☆黒板演示用ジェットコースターモデル

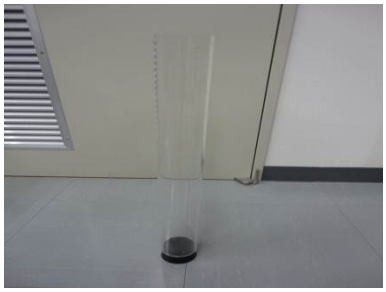
中学校３年生「運動とエネルギー」で使える教具です。コンパクトに収納できるところと、形を自由に変えることができるというところがお勧めです。黒板に貼って、掲示しながら操作できることもいいところです。

材料　・安心クッションクリア　Ｌ字極細　３本
　　（９０㎝　ホームセンター５７８円）
　　・クリップ付きマグネット
　　・鉄球
　　・伸縮性粘着ビニールテープ（透明）



☆アクリルパイプ堆積実験装置

小学校６年生「大地のつくりと変化」では堆積実験装置として、小学校５年生の「もののとけかた」ではシュリーレン現象を見せるときに便利な道具です。直径５ｃｍ長さ５０ｃｍアクリルパイプで、下は大きなゴム栓がついています。堆積実験の時は口が大きく土砂を入れやすいことが便利です。



普段、シュリーレン現象を見せる時、メスシリンダーを使うことが多いと思いますが、このアクリルパイプでやると目盛りがないことと、表面が曇りにくいので大変見やすいです。センターには８台あります。

※シュリーレン現象・・・水のような透明な液体の中で塩やコーヒーシュガーなど溶けるものがしま模様や、もや状の影を出しながら溶けていく現象のこと

◆国際数学・理科教育動向調査（TIMSS2011）の結果が公表されました！

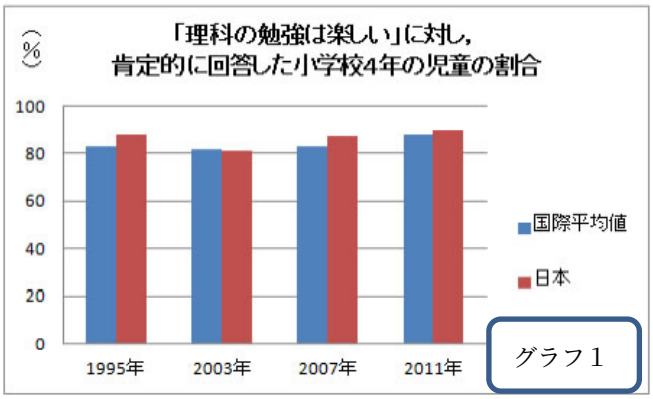
小学４年と中学２年を対象とした２０１１年の国際数学・理科教育動向調査（ＴＩＭＳＳ）の結果が，先月文部科学省より公表されました。

〇得点は・・・

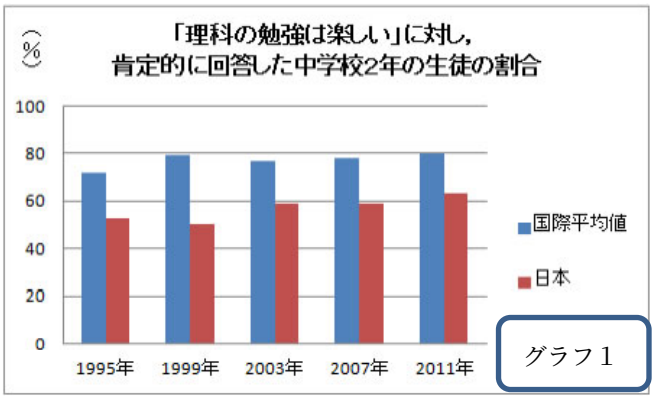
小学校理科は，前回調査（２００７年）に比べて平均得点が有意に上昇するとともに，習熟度の低い児童の割合が減少し，習熟度の高い児童の割合が増加した。中学校理科は，前回調査に比べて平均得点は前回調査と同程度ですが，習熟度の高い生徒の割合がやや増加した。

〇理科に対する意識は・・・

・「理科の勉強は楽しい」は小中とも前回より増加。小学生は国際平均より上回っているが，中学生は国際平均よりも低い。（グラフ１）



グラフ１

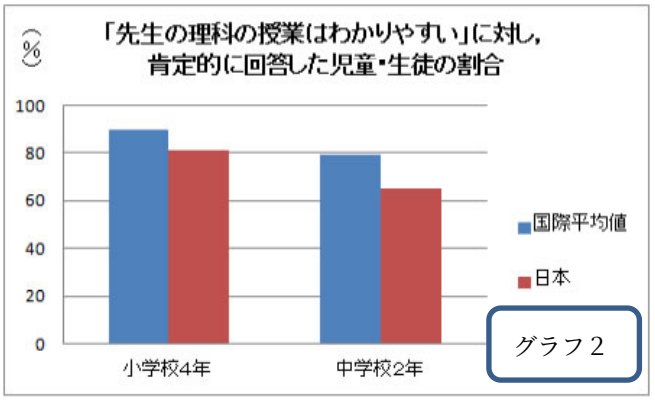


グラフ１

・小学校は約８割、中学校は約７割の児童が「理科の授業は分かりやすい」と回答。しかし、小中ともに国際平均よりやや低い。（グラフ２）

・「将来，自分が望む仕事につくために，理科で良い成績をとる必要がある（中２）」は，４７％で前回調査（４５％）と比べて増加しているが，国際平均（７０％）よりもかなり低い。

・「理科を使うことが含まれる職業につきたい（中２）」は２０％で，国際平均（５６％）の３分の１とかなり低い。



グラフ２

以上のような報告がされています。参考しながら、授業改善に取り組んでいきたいものです。

お知らせ

「理科センターの物品を借りたいけど、教育センターまで行くのはなあ・・・若葉町なら近かったけど、軽井川は学校から遠いし、通勤途中でもないしなあ。困った困った！」と思われている先生はいませんか？もし、早めにいっていただけるようでしたら、比角小学校を経由することも可能です。協力員の近藤が比角小学校まで運びますので、そちらでお渡しできるようにしておきたいと思います。ご利用ください。

平成２４年度　柏崎市立教育センター　　教育相談班だより　１月号

心の窓

No.１６１

〒945－１３５５
柏崎市大字軽井川４８０３－２
TEL　0257(23)4591（代表）
FAX　0257(23)4610

～ 発達障害と偉人 ～

＜事例 1＞

【幼児期】

- 言葉の発達が遅れていた。心配した両親は医師に相談したことがある。
- 無口で他の子と混じっていると大人しいという印象。
- 家では頻繁にかんしゃくを起こし、妹にボウリングのボールを投げたり、鍬で頭を殴ろうとしたりしたことがある。

【学齢期】

- なかなか他の子どもと馴染まなかった。
- スポーツに全く関心を示さなかった。
- 暗記がほとんどできなかった。
- 質問されてもすぐに答えず、黙ったままでいた。

＜事例 2＞

【学齢期】

- 家がとても貧しく、家庭での暮らしに喜びを見出せなかった。その分、学校でうっぷんを晴らしていた。
- 学業成績は在学中を通して最下位に近かった。
- 着席していることができず、教科書を読むことも無かった。
- 小５の時に偉人のものまねをして学校中の人気者になったことがある。

上記に示した実態は、2人の偉人のそれぞれの子ども時代の様子です。さて誰でしょう。

答えは、事例1が「アルベルト・アインシュタイン」、事例2が「ウォルト・ディズニー」です。

これらの子ども時代の行動や様子は、今なら発達障害と判断されることでしょう。しかし、現実に、こうした実態を持っている子どもであっても、成人後に大きな偉業を成し遂げています。この偉人たちが証明しているのは、「子どもの可能性をうまく伸ばせるかどうかは、周囲の支えや理解による。」ということです。

最近、発達障害の診断例が増えるにつれて、何か診断が下されないと何も指導ができないかのように捉えられたり、発達障害があるから出来なくても仕方ないと諦められたりしてしまう事例も見受けられます。が、どの子も、大なり小なり発達の凸凹を持つと同時に、将来に可能性を持つ存在として、卵を潰さず暖め育てていこうとする気持ちで周囲が繋がっていくことが大切なのでしょう。

幸い柏崎市の小・中学校では、スクールサポート巡回相談、スクールカウンセラー、特別支援学校の地域支援、その他の療育関係者が学校内に訪れる機会も増えました。コーディネーターも機能してきました。学校は学校外の方から支援を受ける、学校外の方は学校の資源を活用する、という連携の仕組みを地域に合った形で築いていくことが発達障害の子どもたちの支援には不可欠ですし、それがまた、偉人を生み出す土壌になるのだと信じています。（文責・小林）

☆☆☆☆☆☆ ふれあいルームより ☆☆☆☆☆☆

スケート教室①（１２／４）

アクアパークでの今年度初めてのスケート体験活動でした。参加した通級生は少なかったのですが、貸切状態のスケートリンクを思う存分使って、スケートを楽しむことができました。初めは壁から手を放すことができなかった子（指導員も含めて）も、後半には壁に触れないで、少しずつ速く滑れるようになりました。わざと転んで楽しんでいる子もいて、とても楽しいスケート教室でした。

１月に２回目のスケート教室を予定しています。もっともっとうまく滑れるようになりたいと今から楽しみにしています。

そば打ち体験（１２／１８）

半田コミセンの斎藤センター長さんや嶋岡さんの指導の下、今年度もそば打ち体験をすることができました。そば粉にふのりを混ぜてこねるところが、なかなかうまくできなくて大変でしたし、そばを切るのも、太さを揃えるのに大変でした。

教えてもらいながら悪戦苦闘したそば打ちでしたが、最後はみんなでおいしく食べることができました。残ったそばはみんなでお土産にして持ち帰りました。きっとお家でもそば打ち体験について、話に花が咲いたのではないかと思います。ご指導ありがとうございました。

（ふれあいルーム指導員　渡辺　仁平）

◇◆

教育相談班　2月の予定

≪カウンセリングルーム≫

いろいろ体験グループ（SST）

１日（金）16:30～17:30　小学生Ａグループ
８日（金）16:30～17:30　小学生Ｂグループ
１５日（金）16:30～17:30　小学生Ｃグループ
２１日（木）18:30～20:00　中学生第１グループ
２２日（金）18:30～20:00　中学生第２グループ

≪ふれあいルーム≫

５日（火）スキー教室
２０日（水）バス課外活動
２２日（金）ソフィアセンター
２８日（木）３送会、中３通級終了

２月の行事予定表

日	曜	研修・行事・会議
1	金	相:SST小A16:30-
2	土	
3	日	
4	月	相:班会議13:00-
5	火	研:教師自ら楽しむ施設見学会と実習(海洋生物環境研究所)14:30-16:30 ふ:ｽｷｰ教室(ｷｭｰﾋﾟtytﾊﾞﾚｲ)8:00-16:10
6	水	
7	木	
8	金	相:SST小B16:30-
9	土	
10	日	
11	月	建国記念の日
12	火	
13	水	
14	木	
15	金	教育センター運営委員会9:00-11:00 相:SST小C16:30-
16	土	**第11回柏崎の教育を語る会** **(アルフォーレ)9:00-12:00**
17	日	
18	月	相:班会議13:00-
19	火	
20	水	ふ:バス課外活動（新潟市）
21	木	相:SST中①18:30-
22	金	相:SST中②18:30- ふ:ソフィアセンター10:00-
23	土	
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	ふ:中３生通級終了、３送会

所　員　随　想

「日本」ってすごいんだ

情報教育主事　田村　実

学生の頃から旅行好きであるため、数年計画で準備してむりやり海外へも出かけています。その度、世界におけるそれぞれの国の勢いや国民性を感じられることが面白いものです。たとえば最近なら、街にあふれる韓国企業の広告(昔なら日本企業)、富裕層だけでなく学生層まで目立つようになった中国人旅行者、たびたび見かけるインド人旅行者など、行く先々で経済的な勢いのある国々を感じるわけですが、日本人の受け止められ方の変化も強く感じます。マンガなどの文化、メディアで報道された震災時の行動、日本を訪れた旅行者の評判、信頼度の高い日本製品などが、良い方向に導いてくれているのでしょう。日本語で話しかけられることも珍しくないですが、入国審査で「あけおめ」(あけましておめでとう)などと声をかけられると面食らってしまいます。

旅行に出かけるたび、「どんな店でもそのお客を大事にする意識」「小さなことでもルールを守ろうとする意識」「どこにでもある快適なトイレ」などは決してあたりまえのことではないし、ひとつの製品やサービスを徹底的に改善していく姿勢など、日本が世界に誇れる部分がたくさんあるということを再認識しています。

経済的には超低空飛行が続く日本ですが、サービスやものづくりに対する姿勢など、世界に評価される良さを活かし、独自の競争力を持つ国になって欲しいなぁなどと思っています。そうなるための人材を育てるという大きな仕事を、その小さな部分でも良いので続けていきたいものです。

柏崎の教育を語る会

子どもの確かな育ちのため、「ともに歩む地域の学校」の推進をめざし開催する柏崎の教育を語る会。
今年はアルフォーレを会場に「子ども会議」を行うなど、子どもの声を直接聞く場もあります。

テーマ「ともに歩む地域の学校」

子ども会議もあります。

子どもが
- 地域への感謝
- 自分たちにもできること
- 地域へのお願い

を語ります。

これを受け、大人たちも語り合っていきましょう。

2013年2月16日（土）

AM8:50～11:50　受付は8：30より

アルフォーレ　全体会（大ホール）
分科会（表現、会議室 など）

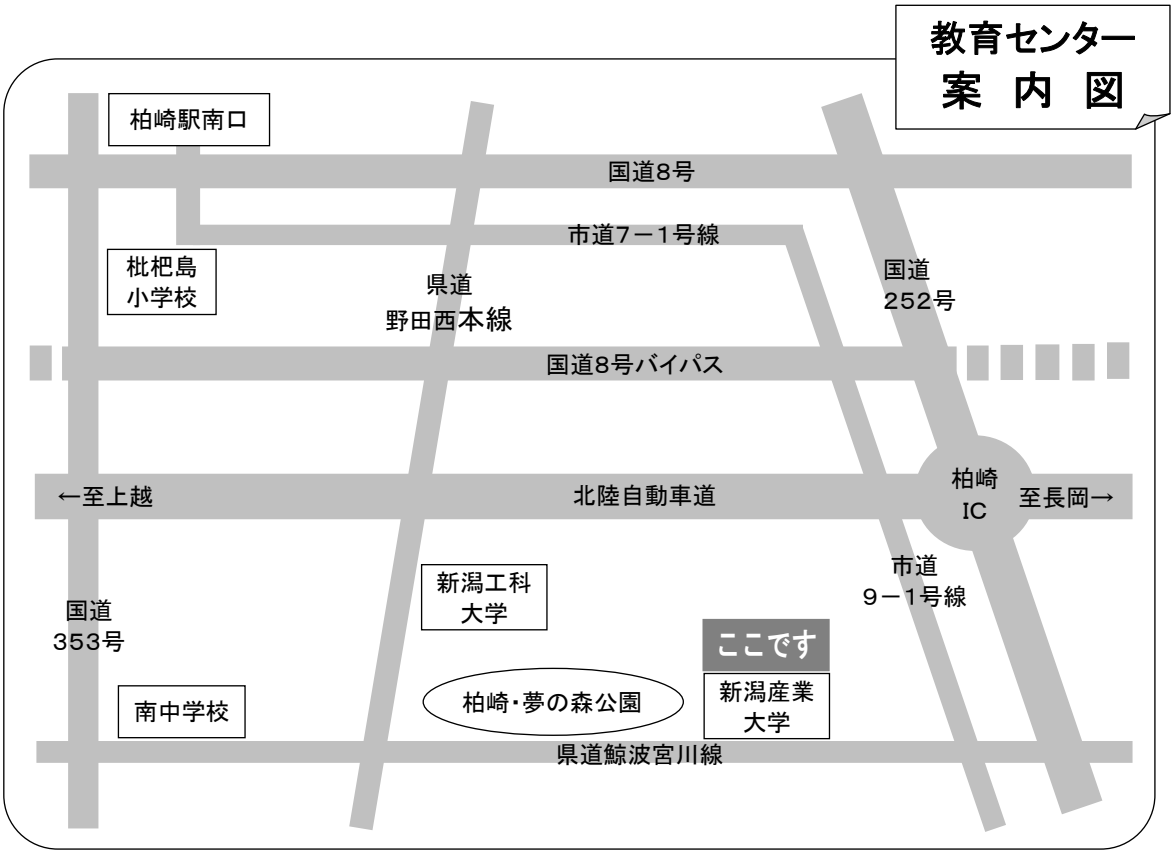
主催　柏崎市教育委員会　　主管　柏崎市立教育センター
協力　柏崎市小中学校ＰＴＡ連合会　柏崎市市民活動支援課
柏崎市コミュニティ推進協議会　柏崎青年会議所　他

お申込みは、柏崎市立教育センター　２３－１１６８　まで

ＣＳＴって何？

上越教育大学の養成事業であるコア・サイエンス・ティーチャー（略称ＣＳＴ）は、小・中学校教員として優れた理科教育実践を展開するとともに、研修会や教材開発で中心的な役割を果たすことなどにより、地域の理科教育の質を向上させる教員です。

このたび、同大学から当センターの科学技術教育センター協力員である近藤亜矢子教諭（比角小学校）へＣＳＴ認定証が交付されました。柏崎刈羽地区では、前任の酒井智子教諭（第三中学校）に続いて２人目となります。



〒945-1355　柏崎市大字軽井川４８０３番地２（新潟産業大学キャンパス内）

※路線バスは、柏崎駅南口から新潟産業大学行きをご利用ください。

※車でお越しの方は、キャンパス内では徐行をお願いします。

教科書センター利用案内

柏崎刈羽の小・中学校で使用している教科書のほか、各教科書会社の小・中学校の教科書各２冊、高等学校の教科書各１冊を備え付けています。どなたでも閲覧することができるほか、小・中学校の教科書は、閲覧だけではなく貸出も行っています。各教科書会社の学習内容の取り扱いの比較、授業研究のための教材研究などに役立ててはいかがでしょうか。

教育センター代表TEL：0257－23－4591
代表FAX：0257－23－4610
E-mail：k-center@city.kashiwazaki.niigata.jp
教育研究班・情報教育TEL：0257－23－1168
E-mail：kec@kenet.ed.jp
教育研究班（科学技術教育）TEL：0257－20－0212
E-mail：kagaku@kenet.ed.jp
教育相談班（ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞﾙｰﾑ）TEL：0257－32－3397
E-mail：soudan@kenet.ed.jp
教育相談班（電話相談）TEL：0257－22－4115
青少年育成センターTEL：0257－20－7601
E-mail：ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp
教育情報支援システム URL：http://kedu.kenet.ed.jp

平成２５年１月発行